



もつと
もつと!

楽しい塩竈へ

「第18回塩竈こどもゆめ議会」開催

11月6日、第18回塩竈こどもゆめ議会が開催され、小学6年生20人が「こども議員」となり、塩竈のまちづくりを議論しました。



鎌田 琥太郎 代表 (月小)

海のみな党

提案

どんな人でも健康で生き生きと暮らせるまちへ

高齢者が過ごす施設で、全てのことをしてあげるのではなく、考えたり活動したりすることの助けをする「考える杖」によって支援したいです。例えば、自転車の運転が好きだった方が、運転できなくなっても、eスポーツで運転できる体験ができたら、喜びと生きがいを感じるのではないかと考えました。身体に障がいがある方でも、楽しむことを見つけて出すための支援ができるはずです。このような取り組みにより、どんな人でも健康で生き生きと生活を送ることができ、魅力ある塩竈になっていくと考えます。市長さんいかがでしょう。

市長からの

回答



高齢者施設では、日常の体の状況を見ながら元気に過ごすためのお手伝いをしています。もっと自分の意思で充実した人生を送ることができるよう、「考える杖となる」という意思を持ってお世話をしていくことは大事なことでありと考えます。この考えがより広まるよう、各施設に伝えていきます。こども議員の皆さんも、家族や地域の高齢者にとって「考える杖」となるような取り組みを実践していただきたいです。



藤原 壮志 代表 (二小)

甘党

提案

安全安心なまちづくりをとおして塩竈の良さを観光客や市民に伝えるために

鹽竈神社などの名所だけでなく、塩竈で働く人たちにも目を向けてもらえるようにしたいです。塩竈の良さとして、漁師、

市長からの

回答

寿司職人、塩作り職人など、塩竈の魅力を支えている人の存在があります。そこで、「がまっこ商店街」を参考に、子どもから若い世代を対象にして、魅力を伝える仕事の体験をしてもらうことで、新たな視点から歴史や伝統を感じてもらい、塩竈の良さを生かした持続可能な観光につなげていきたいと考えました。また、若い世代がその魅力をクチコミやSNSで発信してくれることが期待できます。

塩竈は歴史、文化、自らの魅力を多く持っています。市では、小学生が地元の仕事体験する「がまっこ商店街」や、「老舗めぐり」「食べ歩き」をテーマにしたまち歩き企画を実施しています。また、市のSNSでイベントなどの情報を発信しています。塩竈の魅力を存分に味わえるような体験型観光を取り入れ、観光客が塩竈のファンとなつて、何度も訪れてもらえるようにしていきます。

こども議員のみなさんから様々な提案・質問がありました

伊保石公園に設置してほしい遊具で、どんなものが人気だったのか、ぜひ知りたい。

海の魅力を味わえるイベントでまちづくりを盛り上げたい。



▲議員の皆さんの凛々しい眼差しが印象的でした
▲最後は笑顔で記念撮影

ごみ箱に感謝の言葉が流れるセンサーを付ければ、ポイ捨てが無くなり嬉しい気持ちにつながるのでは。健康につながるように、ウォーキングコースに、景色を楽しめたり、体力アップの効果解説する看板をつけては。

問 生涯学習課生涯学習係
TEL 022-355-2885